

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	olea AZUMADA			
○保護者評価実施期間	令和7年1月14日		～	令和7年2月1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26人	(回答者数)	20人
○従業者評価実施期間	令和7年1月14日		～	令和7年2月1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数)	6人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月10日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	療育カリキュラムの固定化にならない工夫	季節毎の工作でも以前に作成したものを写真に撮り同じくならない様工夫しています。また、運動に関しても道具に限りがあるので同じになりがちであるが、1人で行った事を2人ペアで行い、難易度を上げたりと同じくならない工夫しています。	料理、工作、運動と共通しているのが、器具の充実化だと思います。ただそろえれば良いのではなく、子どもたちが使いやすい、安全で楽しめるものをそろえ、より良いカリキュラムへの充実化へと繋げていきたいと思っています。
2	イベントの充実化	必ず月に1回2回とクッキングをイベントに入れているので季節感や児童がメインになって作る料理など方法をいろいろ変えて取り組んでいます。 長期休暇の際には、ほぼ毎日違うイベントを考え、室内だけでなく屋外でのイベントや公共施設を使用し、マナーやルール学習に繋がっています。	いわきの行けるところはほとんど行ったので、近隣や子どもたちが興味あるものや場所をリサーチし積極的に行ってみていきたいと思います。
3	保護者との連携	連絡帳では伝えきれない事をLINEを使用し、より詳しく伝えたい時に使用しています。また、緊急性が高い時には電話での連絡を行っています。 また、職員全体で情報の共有が行っているため、どの職員でもその都度、保護者への返答が出来ていると思います。	一度話をして終わりではなく、話したことを再度職員間で共有し、一人よりも二人、二人よりも多くの意見を聞き、よりよいアドバイスが出来るようにしていきたいと思っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流	交流が行えていないのが事実であります。	既存のイベントに参加する機会があるので、スポンサー的な立ち位置で参加していき、併せて協力を行っていききたいと思います。
2	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等	実施する事は出来ているが、回数が少なく、参加の少ないイベントもあるので認知に繋がっていない	昨年よりも保護者参加のイベントを回数を増やしたり、児童と保護者が離れ、保護者のみでの交流会を行ったりと計画を組んでいるので、実行できるよう努めていきます。
3	家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会	案内が出来なかつたです。	自分たちもまだまだ勉強不足の中、案内が出来なかつたので、職員間でも積極的に研修へ参加しながら、保護者へ案内できるものは案内し、共に学んでいけるようにしていきたいと思っています。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 olea AZUMADA

公表日 令和7年2月28日

利用児童数

26

回収数

20

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	17	2		1	先生方は子どもたちの事をよく見てくださっていると思います。	人数に関しては問題なく行う事が出来ていますが、今後より良い療育を提供出来るよう人数の増員を検討しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18	2				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19			1	やっていないと思う。 望んでいません。	機会を設けて開催できるよう努めていきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18	1		1	支援プログラムを見たことがない。	3月中にHPにて公表いたします。また、全職員共通理解を基に、統一した支援を提供していきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19		1			
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20				平日毎週カリキュラムが違ったり、長期休暇も子どもたちが楽しめるように感じます。	同じ道具を使用したプログラムでも内容まで一緒にならない様、工夫をしています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	9	1	1	やっていないと思う。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17	2	1			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	20					連絡帳だけでなく、LINEやインスタグラムを使用し、活動内容を伝えられるようにしています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	1	1		面談や送迎時に様子が聞けるのでありがたいです。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	1				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	15	5			参加していない。	親子参加型のイベントの際に懇談会も入れていますので、今後は回数を増やしたり、参加したくなるようなイベントを考えていきたいと思っています。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	1					

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20				連絡帳だけでなく、LINEでも連絡のやり取りが出来るので助かっています。	連絡帳では細かく伝えられない所をLINEを使用し、より細かい内容であったり、伝えたい事を見返り出来るよう多様させていただいています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19	1				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	1				鍵付きの書庫に保管しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	1				月に一度、津波、火災、水害、防犯の4つの中から準備に行っております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19	1				月に一度、津波、火災、水害、防犯の5つの中から準備に行っております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19			1		契約の際に説明をさせていただいております。また、怪我あった際も対応方法や処置に関して伝えております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19	1				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	1	1	1	クッキングに参加し料理に興味が出てきたようです。家に早く帰りたいと言うも、参加すると楽しんでいるようです。	今後も興味を持ってもらえるようなイベントやクッキングを考え、楽しんで参加してもらえるよう工夫していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	20					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		olea AZUMADA				公表日	令和7年2月28日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	置く場所を固定し、必要最低限な物を置き、出した物がわかりやすくなるので、片付けに繋がれていると思います。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4		第三者による外部評価の実施に努めています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6				
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	4		3月中にHPにて公表いたします、全職員の共通理解のもとに、統一にした支援をしています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1	職員間で話し合いながら作成を心がけています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6				

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3	3		地域交流の機会が弱みであるので改善できるよう努めていきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2		医療との関りが保護者主体となっている事が多いので、通院のタイミングに合わせて活動内容や過ごし方を手紙のやり取りにはなるが伝えられるようにしていきたいです。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	3		積極的に声掛けを行いながら少しずつでも情報共有に図りたいと思います。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		関りが無いのが事実ではあるので、他の放デイと連携を取りながら関わり方について学んでいきたいと思っています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3		不定期になっているので極力職員も含めて参加できるようにしていきたいです。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3		自分たちだけでなく保護者とも参加できる研修に参加し、共に学んでいきたいです。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	2		今年、保護者だけが別で参加できるママカフェを再開できるよう計画を進めています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	1		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4		大きなイベント（夏祭り）から地域に声をかけられるようなイベント計画していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	2		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	2		緊急避難場所への案内等は書面で周知しています。緊急時の災害や感染の訓練も実施していきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1		保護者より書面にて対応方法は確認できました。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1		保護者より確認は出来ているが、医師との指示書が無い方もいるので確実にしつて期待したいと思います。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1		ヒヤリハットに関しての時間を取りながら確認出来る日を作り、対策や防止に繋げていきたいと思っています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6				